

日本地域経済学会第37回大会（沖縄大会）案内：第一報

本年の大会（第37回大会）は、2025年11月29日（土）～12月1日（月）、沖縄大学本キャンパス（那覇市字国場555番地）において開催を予定しております。ここでは現段階で決定している内容についてご案内します。皆様のご参加をお待ちしています。

○大会の概要とスケジュール

日程：2025年11月29日（土）～12月1日（月）

開催本部：沖縄大学 本キャンパス

大会実行委員会：

委員長：川瀬光義（京都府立大学名誉教授）

鈴木誠（愛知大学）、島袋隆志（沖縄大学）、関耕平（島根大学）、真喜屋美樹（沖縄高専）、佐無田光（金沢大学）

連絡先：学会事務局

（駒澤大学：長山宗広・松本典子・大前智文）

ー自由論題報告のエントリーなどー

○自由論題報告の募集

2025年8月1日（金）までに、名前、所属、タイトル等を本部事務局（chiikikeizai60@gmail.com）までEメールでお申し込みください。

その後、報告要旨を**2025年9月30日（火）までに**研究内容をA4サイズ3頁までにまとめて、同じく本部事務局（chiikikeizai60@gmail.com）に提出してください。締め切り厳守でお願い致します。

日本地域経済学会事務局

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1

駒澤大学経済学部 長山宗広研究室

(e-mail) chiikikeizai60@gmail.com

(ホームページ) <http://jares.jp/>

◇11月29日（土）

午前：理事会

午後：地域公開シンポジウム、総会、懇親会

<地域公開シンポジウム>

テーマ：「おきなわの子どもたちと社会・企業の取り組み」

◇11月30日（日）

午前：自由論題報告、企画セッション

午後：特別講演、共通論題シンポジウム、自由論題
賞授賞式、閉会式

<特別講演>

講演者：宮本憲一（大阪市立大学名誉教授、滋賀大学名誉教授）

テーマ：「沖縄の地域開発の歴史－軍事基地の圧力の下で（仮題）」

<共通論題シンポジウム>

コーディネーター：川瀬光義（京都府立大学大学）

テーマ：新冷戦と地域経済の持続可能性

◇12月1日（月）

エクスカーショ

○自由論題賞・自由論題奨励賞の審査希望募集

「自由論題賞」・「自由論題奨励賞」とは、自由論題の報告の中で優れた内容に賞を与えるものです。本賞は、若手研究者（常勤職に就いている研究者の他、常勤職に就いていない研究者や大学院生）の活性化を目的としています。受賞者には大会2日目の授賞式において賞金5万円と賞状を授与します。添付の規定をご参照ください。

自由論題のエントリー予定の方で、本賞の審査を希望する会員は以下の①～④に従ってエントリーしてください。

- ① 対象者は、入会から満2年以上経過して研究歴20年以下の会員（一般、院生）です。
- ② **2025年8月1日**のエントリー時に併せて、理事長（長山宗広：mnagaya@komazawa-u.ac.jp）に審査希望をお伝えてください。そのうえで、**9月30日までに**審査用資料を作成し、理事長（長山宗広）に提出してください。
- ③ 審査用資料は、発表内容が要旨より詳しくまとめられているもので、文字数の目安としては図表込みで8,000字程度（多くても15,000字以

内)です。審査用資料には学歴・職歴も書いてください(文字数に含みません)。

- ④ 審査用資料の体裁は問いません。これは自由論題発表の内容を補助するものであり、投稿論文扱いにはしません。つまり、作成された審査用資料が論文形式であっても、公表しませんので、報告後に学術誌にそれを投稿しても二重投稿に当たりません。

< 重要 >

自由論題賞・自由論題奨励賞の審査希望の連絡先について、審査対象者情報を厳格管理するために、理事長(長山宗広 mnagaya@komazawa-u.ac.jp)まで連絡ください。くれぐれも事務局宛にメールしないようお願いします。

自由論題報告へのエントリー

→ 事務局宛 chiikikeizai60@gmail.com まで

日本地域経済学会自由論題賞へのエントリー

→ 理事長宛 mnagaya@komazawa-u.ac.jp まで